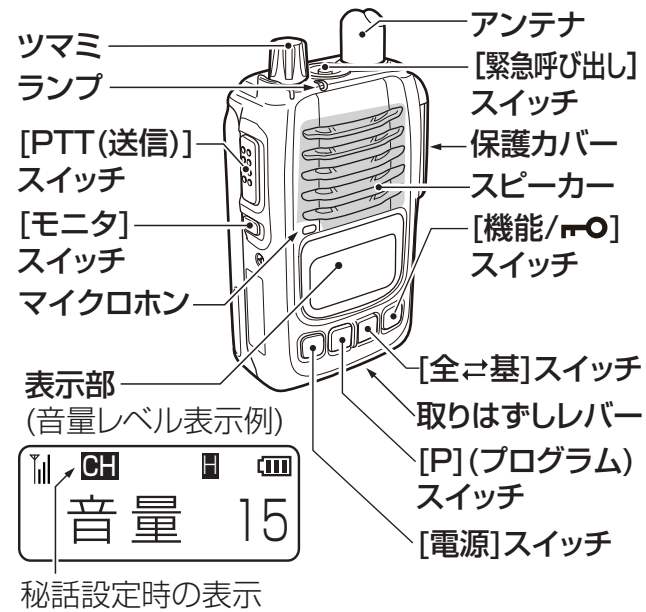


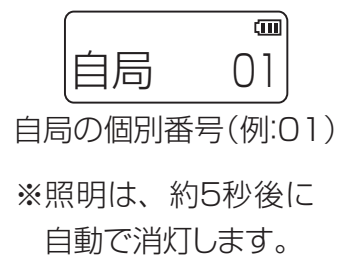
**各部の名称**



**電源の入れかた**

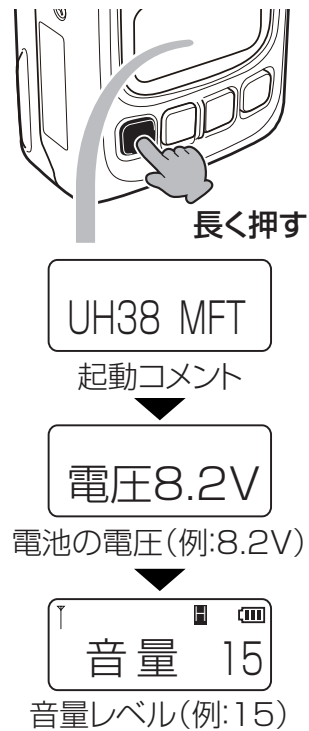
【電源】スイッチを長く (1秒以上) 押します。

【自局番号表示とは】  
個別呼び出し機能が設定されているとき、電池の電圧表示の次に表示されます。



【電源を切るには】  
もう一度、【電源】スイッチを長く押します。

【ご参考】  
起動コメントの変更や自局番号を漢字などの表示に変更して使用する場合は、お買い上げの販売店で設定が必要です。



このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
本書は、交信に必要な基本操作を説明しています。本書をお読みいただく前に、別紙の「ご注意と保守について」をよくお読みいただき、本製品を安全にご使用ください。

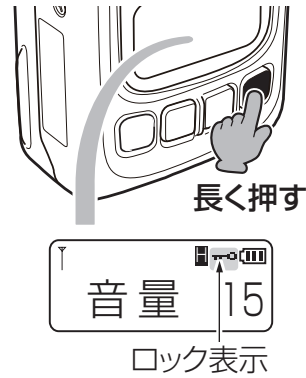
**誤操作を防ぐときは(ロック機能)**

「ピピッ」と鳴るまで、【機能/電源】スイッチを長く押します。

●●が表示されます。  
【ロックを解除するには】  
もう一度、【機能/電源】スイッチを長く押します。

**【ロック中にできる操作】**

- ◎電源の「入」/「切」
- ◎ロック機能の解除
- ◎送信/受信の切り替え
- ◎モニター機能の「ON」/「OFF」



**音量調整のしかた**

- ①音量レベルが表示されるまで、【機能/電源】スイッチを押します。
- ②ツマミを回す。  
●0~32の範囲で、調整できます。

【音を確認するには】  
【モニタ】スイッチを押します。  
●ランプが緑色に点灯します。  
※モニター機能が設定されていない場合は、音は出ません。

【ご参考】  
音量の最小値を制限できます。(例:10)  
最小値の設定については、お買い上げの販売店で設定が必要です。



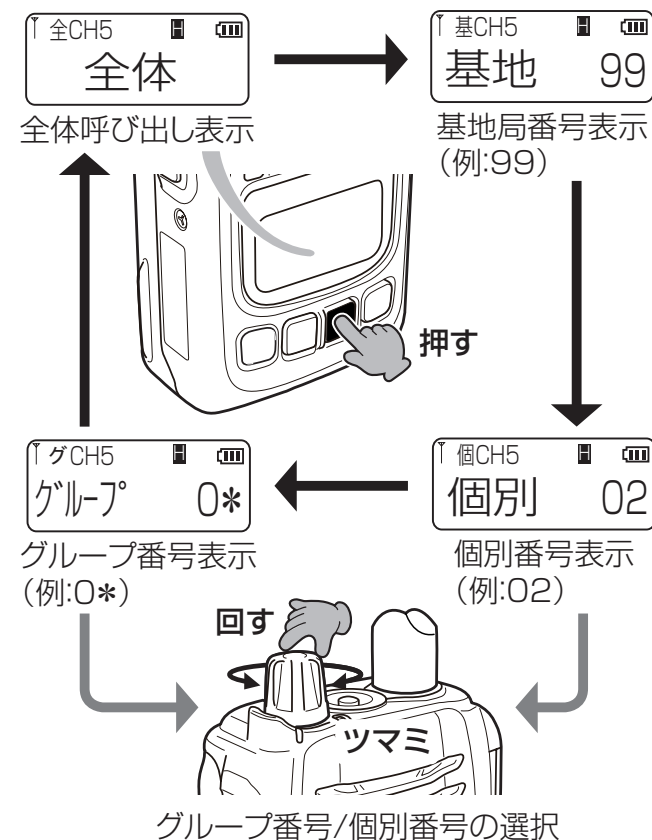
**通話チャンネルを切り替えるには**

- ①通話チャンネルが表示されるまで、【機能/電源】スイッチを押します。
- ②ツマミを回す。  
※相手と同じ通話チャンネル番号に合わせます。



**全体/基地/個別/グループ番号の選択**

- ①【全基】スイッチを押します。  
※押すごとに、表示が切り替わります。
- ②相手の個別番号、または所属するグループ番号を選択するときは、ツマミを回す。

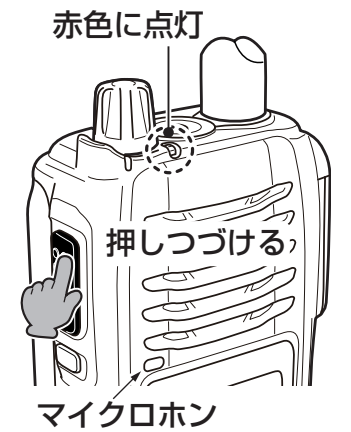


【ご参考】  
グループ番号表示を使用する場合は、お買い上げの販売店で設定が必要です。

**呼び出しをする(送信する)**

【PTT(送信)]スイッチを押しながら、マイクロホンに向かって呼びかけます。

- ランプが赤色に点灯します。
- ※【PTT(送信)]スイッチをはなすと、待ち受け状態になります。



**■個別呼び出し機能:「OFF」の場合**

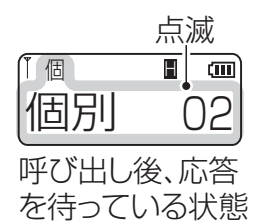
相手と同じ通話チャンネル番号に合わせてから、送信します。  
※全体/基地/個別/グループ番号の選択はできません。

**■個別呼び出し機能:「ON」の場合**

- 全体/基地/個別/グループ番号が選択できます。通話チャンネル番号と、呼び出す相手(全体/基地/個別/グループ番号)を選択してから、送信します。
- ◎全体 : 一斉に全局を呼び出す。
  - ◎基地 : 基地局を呼び出す。
  - ◎個別 : 選択した番号の1局を呼び出す。
  - ◎グループ : グループに所属する局を一斉に呼び出す。

**【相手局から応答がないときは】**

表示が点灯に切り替わってから、再度【PTT(送信)]スイッチを押すと、繰り返し呼び出すことができます。



**【相手局が通信圏内かどうかを確認するには】**

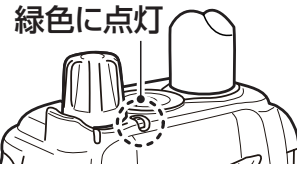
個別/基地局呼び出しの相手局番号を選択した状態で、【PTT(送信)]スイッチを短く押します。

- 相手局が通話圏内にいる場合、「ピッ」と鳴り、ランプが1回点滅(緑色)します。
- 通話圏外など、相手に電波が届かない場合は、終話して、操作前の表示(例:全体)に戻ります。



## 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、ランプが緑色に点灯します。



### 【応答するときは】

ランプが消灯し、待ち受け状態になってから、[PTT(送信)]スイッチを押します。

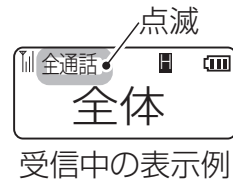
### ■ 個別呼び出し機能：「OFF」の場合

選択している通話チャンネル番号の電波を受信すると、右図の表示になります。



### ■ 個別呼び出し機能：「ON」の場合

◎ 選択している通話チャンネル番号で、相手から全体呼び出しを受けると、右図の表示になります。



◎ 選択している通話チャンネル番号で、相手から個別呼び出しを受けると、右図の表示になります。

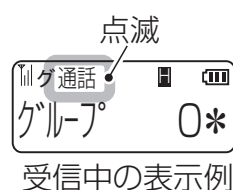


● 呼び出してきた相手の個別番号(例：01)を表示します。

※ 基地局の相手(例：99)から個別呼び出しを受けたときは、右図の表示になります。



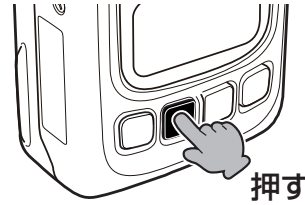
◎ 選択している通話チャンネル番号で、相手(例：01)からグループ(例：0\*)呼び出しを受けると、右図の表示になります。



## 音声でチャンネル番号を確認するには

[P](プログラム)スイッチを押します。

● 選択している通話チャンネル番号が読み上げられます。



## 緊急呼び出し機能について

迅速な連絡が必要な場合、通話チャンネルが一致する局に、緊急信号を送出して相手に警告音で通知できます。

### 【ご参考】

- ◎ お買い上げの販売店で、個別呼び出し機能と緊急呼び出し機能の設定が必要です。
- ◎ パワーセーブ機能は、「OFF」(初期設定値)でご使用ください。
- ◎ 個別呼び出し機能と緊急呼び出し機能の両方が送信側と受信側に設定されていない無線機は、相手局を呼び出しできません。
- ◎ あらかじめ設定されたIDと一致する相手局にだけ、緊急呼び出しをします。
- ◎ 緊急呼び出しやその呼び出しを受けているあいだは、下記の操作ができません。
  - [P](プログラム)スイッチの操作
  - [全基]スイッチの操作
  - [機能/機]スイッチ操作による通話チャンネル表示への切り替え
- ◎ 下記のような場合、通知できなかつたり、通知できても警告音が鳴らなかつたりすることがあります。
  - 警告音が音量調整と連動して変化するように設定されている場合
  - 警告音を鳴らさない設定がされている場合
  - 動作中、電池の消耗により自動的に電源が切れた場合
  - 電波状況の悪化により電波が届かない場合

## 緊急呼び出し機能について(つづき)

### △警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。本製品にヘッドセットやイヤホンを取り付けて、緊急呼び出し機能を使用する場合は、警告音の音量とツマミが連動するように設定されることをおすすめします。設定は、販売店にご依頼ください。

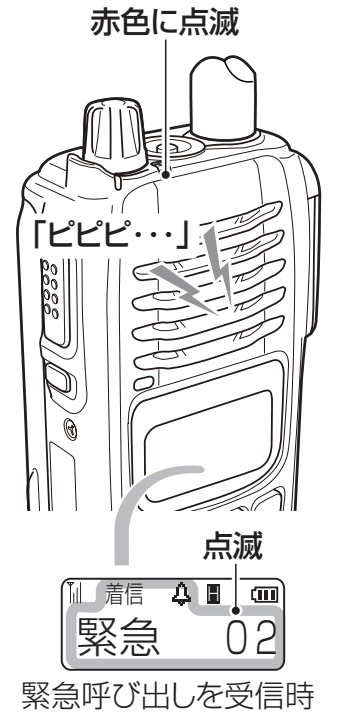
### 【緊急呼び出しのしかた】

- ① 相手と同じ通話チャンネル番号に合わせます。
- ② 「緊急」と表示されるまで、[緊急呼び出し]スイッチを長く押します。
  - 「ピピピ…」と鳴って、一定の間隔ごとにランプが赤色に点滅します。
- ③ その状態で、相手局から応答があるのを待ちます。
  - 応答があると、警告音が停止して、ランプが緑色に点灯します。
- ④ 交信をつづけます。
  - 終話すると、「緊急」表示の点滅を停止し、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。



### 【緊急呼び出しを受けたときは】

- ① 「ピピピ…」と鳴って、ランプが赤色に点滅します。また、「緊急 相手局番号」(例：02)を表示します。
- ② [PTT(送信)]スイッチを押して、応答します。
  - 警告音が停止します。
- ③ 交信をつづけます。
  - 終話すると、緊急呼び出しを受ける前の状態に戻ります。



## 本製品の詳しい説明や設定方法について

本製品の詳しい説明や設定については、弊社ホームページに掲載されているIC-UH38MFTの取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

アイコム株式会社 <http://www.icom.co.jp/>

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-7170H-2J Printed in Japan © 2014 Icom Inc.